動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939番
(公) 043（222）7207番
97.2.14 No. 4547

'97春闘へ！ストライキでたたかおう！

春闘その1

資本側（日経連）の春闘解体攻撃 許すな！

今春闘は重大な危機に直面している。九六春闘で敷かれた日経連プロジェクト報告（大失業と戦争の攻撃）のレールの上を攻撃は加速されようとしているのである。

「春闘」という言葉すらかき消されようとしているのである。資本とその代弁者・橋本政権は、ベースアップゼロどころか逆に消費税アップ、医療保険制度の改悪（表参照）、年金掛け金の引き上げなど、行革・規制緩和路線に基づく社会保障制度の解体に全てをかけて乗り出し、乾いた雑巾を絞るように労働者からの徹底した収奪の攻撃を加えてきている。

したがって今春闘の核心は、昨年春闘につづいて日経連の「新時代の日本的経営」路線と対決する二年目のたたかいだということである。

健保法改悪案による負担増の内容

	現行		改悪されると
健康保険	本人 1割 家族 入院2割 外来3割	⇨	本人 2割 家族 入院2割 外来3割 薬剤 外来薬剤1種類につき1日15円
国保一般	3割	⇨	3割 薬剤 外来薬剤1種類につき1日15円
老人保健	入院1日 710円 外来1月 1020円	⇨	入院1日 1000円 外来1回 500円（月4回を上限） 薬剤 外来薬剤1種類につき1日15円

日経連は、今年一月「九七年版労問研報告」なるものを出した。それは、危機感に満ちた時代認識の満展開であり、「資本が生き延びるためにはどんなことでもやる」という〝宣言〟でもある。「世界恐慌以来の雇用危機」「明治維新、敗戦につぐ三番目の大転換」等々と絶叫、「賃上げなどとんでもない」と、「賃上げゼロ」を打ち出し、『日本型第三の道』と称して行革・規制緩和を実行するというのである。

要するに、能力主義、成績主義を導入し、競争原理のなかに全体を追い込み、戦争だろうとできる国家に改造する。「春闘などもってのほか」というのである。まさに今春闘は、こうした路線との対決ー闘う春闘の再構築にむけての礎をしっかりと築くものでなければならない。

深刻化する労働者の貧困化

総務庁が一月三一日発表した調査によると、九六年平均の完全失業率は三・四％。完全失業者は政府統計ですら二二五万人に達している。失業率は五年連続上昇となっている。仕事のない若者、リストラで使い捨てられる中高年労働者の苦悩と怒りは満ちているのだ。加えて「人件費抑制」のなかで賃金伸び率の鈍化が続いている。所帯収入は九四年、九五年と二年連続低下、そこに追い打ちをかけるように消費税増税、社会保険料の値上げで労働者の家計の苦況はもはや限界に達している。

消費税四月から五％ー値上げ軒並み

四月から消費税が五％に引き上げられる。この増税に伴って鉄道、電気など多くの公共料金も値上げされる。これがたばこを始め、あらゆる商品の物価値上げを促進することは明らかである。さらに所得税、住民税の特別減税も打切りが決定しており、二重三重の重負担が強制されようとしている。民間の調査機関では、「平均サラリーマン家庭では、低く見積もっても年間一三万円もの負担増になる」と発表している。

春闘！ストライキで闘おう

「このままでは生きていけない」という不安と怒りが広範な労働者のなかに高まっている。大切なことは、だからこそ『団結を固め、労働者の武器ーストライキを背景にして、敵の攻撃と対決し、労働者階級の利益を守る』という原則にたちきることである。だが連合は、毎年の要求額すら自ら下げ、これ自体日経連の賃下げ恫喝に完全に屈服している。最近では、「国際競争で勝って、雇用創出を」と言い出し、〝資本主義の発展だけが労働者の生活を高める〟と奴隷の思想を丸出しにし、敵の攻撃の前に組合員ー労働者を投げ出しているのが実態である。このような連合路線を断じて許してはならない。

JR総連革マルは、昨年一一月から国労中央の八・三〇申し入れ＝路線転換の動きに乗じて、「国労解体月間」を打ち出し、当局の尻をたたきながら、卑劣な組織破壊に総力を注いできた。だがそれは完全に破産した。

高崎をはじめ、東労組、日貨労、そしてJR西の大量脱退等を見るまでもなく、国労解体策動の破産は、JR総連そのものの内部危機に転化してきているのである。だから彼らは、顔面を引きつらせ「この三月に国労との闘いを再開する」と言い出し、実にそれが「真・春闘」だというのである。労働者の切実な要求に応えて闘うというのではなく、「他労組（国労）解体が春闘だ」などという労働組合はJR総連をおいて他にない。断末魔のあがきとは、このことである。

JR総連革マル打倒の絶好の好機到来である。春闘ストの圧倒的高揚をかちとり、そのただなかでJR総連解体・一掃を力強く押し進めよう。

動労千葉家族会結成十周年記念レセプション♥

●二月十六日（日）午後一時
●千葉県観光物産センター